



参加者募集！



観光ボランティア交流

信州なかの・北国街道牟礼宿 研修



■実施日 10月9日（月・祝）

■参加費 9,000円（昼食代、見学科含む）

北信濃は北陸新幹線で約1時間15分。

中野市は明治には県庁が置かれ、北信濃の中心として栄えてきました。

今も信越地域の交通の要所である地の利を生かして、工業団地が集積しています。しかし、小布施、飯山、湯田中、志賀高原などの有名観光地に囲まれています、観光の知名度は高いとは言えません。

こうしたことから、中野市では市花のバラを植えた一本木公園でバラまつりを年に2回行い、誘客を図っています。何やら、野々市と似たような状況が伺える中野市。この市民交流を通して、新たな地域づくりのヒントを見つけましょう。

一日程

野々市市役所発 6時30分

中野市内

■果物狩り 巨峰 40分食べ放題・土産に1房

■一本木公園バラまつり見学

市制50周年事業で2011年公園整備完了

園内には850種2500本のバラ

■昼食 信州牛上すき焼き定食

■観光交流会 ボランティアガイド、観光協会

■市内名所見学 ガイド案内

中野陣屋・県庁記念館、創作土人形工房ほか

飯綱町牟礼地区

■北国街道牟礼宿散策

野々市市役所着 21時頃

※参加費は当日徴収



一加賀藩ゆかりの地・牟礼宿

北国街道の中でも信越国境と信濃の主要都市である善光寺町の間位置したのが、牟礼宿。およそ280年にわたって金銀輸送や参勤交代の重要な中継地点として、また交通の要衝や山国に必要な塩・海産物などの物資輸送拠点として栄え、現在でも本陣や脇本陣、問屋、旅籠などの跡が残っています。牟礼宿とその西に続く小玉集落は、江戸へも加賀へもちょうど約60里（約240km）の中間地点にあたります。小玉集落のほぼ中央には、武州江戸と加州金沢のまさに中間地点であることを示す「武州加州道中堺」の道標が残されており、かつて加賀藩では、江戸からの藩主初入国の際は領内の馬200頭が荷物運びのために牟礼宿まで出迎えるのが恒例だったと言われていました。

申し込み 9月29日（金）までに
ボランティアガイドののいち里まち倶楽部事務局へ
（野々市市役所地域振興課内）

TEL076-227-6160

対象：ボランティアガイドののいち里まち倶楽部
会員と放送大学石川学習センター学生
及びそれら関係者の方

※定員（30人）になり次第締め切ります